



認知症になっても安心して暮らしていける町を目指して…

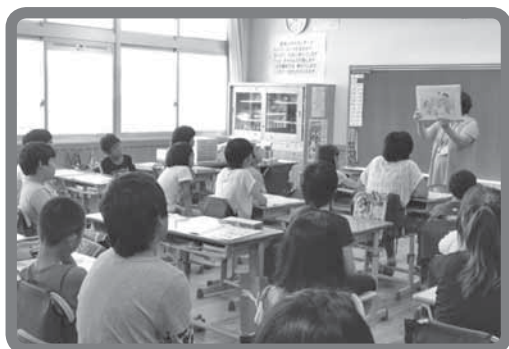
キッズ

湯浅小学校5年生が『認知症サポーター』に!!

◇◇『認知症サポーター養成講座』、福祉について学ぶ『総合学習』の授業の一貫として開講 ◇◇

8月26～28日の3日間で、湯浅町でたのしい『認知症サポーター』が誕生しました。

『認知症サポーター』とは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族をあたたかい目で見守る応援者のことです。町内では、これまでに老人クラブや各種団体等を対象に『認知症サポーター養成講座』を開催し、291名が『認知症サポーター』となっています。



《紙芝居に集中しています!》

講座前は、「認知症って言葉は聞いたことあるけど詳しくは知らない」といった意見がほとんどでしたが、講座終了時には、「認知症の人が一番つらいんだ」「認知症について知れてよかった」「挨拶ならできる」「認知症の人が悩まず安心して暮らしていけるように助けたい」「みんなが気づかい合い助け合えるやさしい町をつくりたい」など、すばらしい意見をしっかり持った立派な『認知症サポーター』が誕生していました。

新しく誕生した『認知症サポーター』は、湯浅小学校の5年生3クラス78名のみなさんです。5年生のみなさんは、各クラスに分かれ、講師である『湯浅町認知症キャラバン・メイト』から90分の講座を受けました。講座では、専用の教本や紙芝居を用いて認知症の症状や対応の仕方、本人や家族の気持ちなどについて学び、「認知症についてどう思ったか」「自分たちにできることは何か」「お年寄りにやさしい町ってどんな町か」についてグループになって話し合いました。



《たくさん意見を出し合いました!》



《教本と紙芝居、
『認知症サポーター』の証のオレンジリング》

今月の認知症の方を介護する家族のつどい『ぴあサロン』～家族のつどい～は10月22日(水) 13:30～15:30 ふれあいプラザで開催します!



『認知症サポーター養成講座』は、4、5人のグループからどなたでも受講していただけます。

認知症になっても安心して暮らしていける町となるように、子供からお年寄りまでみんなで認知症について学び、『認知症サポーター』がたくさんいる、やさしい町をつくりませんか。

『認知症サポーター養成講座』
『ぴあサロン』～家族のつどい～
についてのお問い合わせは下記まで
湯浅町地域包括支援センター
(健康福祉課内)
☎64-1120